

🍀 看護研究へのご協力をお願い 🍀

寛解期/奏効期の方、初回治療後に行った生活上の工夫や対処法を教えてください

私は、日本赤十字看護大学大学院修士課程の多鹿 あゆ美（たじか あゆみ）と申します。現在、「寛解期の造血器腫瘍患者の初期治療後の生活への対処」というテーマで研究に取り組んでおります。

私は血液内科病棟での勤務の中で、強い抗がん剤治療を体験された寛解期の方が在宅でどのような生活を過ごしているのか、現状が見えにくく、それゆえにどのような支援ができるか疑問に感じておりました。そこで、寛解期の方が初期治療後にどのような生活への対処や工夫を行っているのかを本研究を通じて明らかにし、退院後の生活を基盤とした支援につなげていきたいと考えております。

このような体験をお持ちの方、いらっしゃいませんか？

○「急性白血病」「悪性リンパ腫」「多発性骨髄腫」の疾患で初期治療を終え、寛解期/奏効期と診断された経験のある方

○初期治療後に身体的・精神的・社会的に変化を生じ、そのために生活上の対処や工夫をした体験をお持ちの方。

○20歳以上で、60分程度のインタビューにご協力いただける方

インタビューの日時：ご都合に合わせ、調節をいたします。

インタビューの方法：ご体調やご希望に合わせ、対面もしくはWeb会議システム（ZOOM/Teams）にて行います。

※インタビューは原則1回ですが、インタビューを分析後、必要に応じ、2回目のインタビューをお願いさせて頂くこともございます。

本研究への参加にご興味・ご関心をいただけましたらお手数ですが、下記メールアドレスまでご連絡くださいますよう、よろしく願いいたします。研究の概要を説明させていただきたいと考えております。なお、概要の説明を受けた後でも、お断りいただくことは自由でございます。説明を受けた上で参加してもよいという方は後日、改めてインタビューの日程を調整いたします。

3~5名の参加者を募集しております。応募人数を超えた場合は先着順とさせていただきます。ご協力のほど、どうぞ、よろしくお願い致します。

【連絡先】日本赤十字看護大学さいたま看護学部・日本赤十字看護大学大学院

教授 吉田 みつ子

メールアドレス：yoshida@redcross.ac.jp

研究者：日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科 修士課程 がん看護領域
多鹿 あゆ美